

SPS研究所の株式投資支援システム

トレンドストライカー・マルチ

運用マニュアル

(運用・操作・解説)

- Version 1.00 -



Windows XP/Vista

SPS研究所

ホームページ <http://spsnet.jp>
メールアドレス spsnet@spsnet.jp

目次

はじめての運用	3
本システムのご概念	6
運用の手順	7
画面の解説および操作	10
スタートアップ	10
メニューバー	11
操作、解説	11
持株管理	12
操作ボタン	13
表示の選択	14
集計表示	14
決済リスト	15
操作ボタン	16
期間指定表示	17
表示の選択	18
配当管理	19
操作ボタン	20
成績表示	21
パフォーマンス	23
株価データ	23
コメント	24
質問メール	25
メモ帳	25
お申し込み	26
ホームページ	27
銘柄リスト	27
操作ボタン	28
更新日時・データ期間	30
企業業績(ウェブサイト)	31
業績指標グラフ	32
ヘッジ比率	33
相場観測指数/ヘッジ比率	33
株価チャート・出来高/信用残	34
トピックスチャート	35
エラー処理	35
バージョンアップ	37
モニター画面サイズ	38
回線接続トラブルについて	38
システム売買について	40
おわりに	43
本システム運用のための参考書籍	44

はじめての運用

本システムで初めて運用を開始される方のために =====

本システムは、一般の運用システムと異なり、本格的な「資産運用」や「ファンド運用」に設計されたビジネス専用型の「完全システム売買」株式運用モデルであることをご理解ください。

そのため、従来の投資手法とは大きく異なるところがありますので、本システムの趣旨について十分理解された上で運用いただきたいと思います。

本システムの特徴は、

- 1.投資家の判断を一切必要としない完全システム売買である。
- 2.空売りを採用し機械的連続売買を行う。
- 3.多くの銘柄に分散する。
- 4.ヘッジ比率に準じた運用を行う。
- 5.損小利大の投資手法を基本とする。
- 6.順張りを基本とする。
- 7.レバレッジ運用が可能である。

- 1.本システムは「完全システム売買」であるため、投資家の分析や判断は一切受け入れません。売買はすべて本システムの指示に従って売買します。

企業業績等におきましても、当研究所では企業業績はすでに株価に織り込み済みというスタンスを取っているため、基本的には無視して売買します。

- 2.本システムでは、仕掛け条件が合っていれば同銘柄での買いから空売り、そして、さらに買いと連続売買を行います。これらの手法は、非常に画期的な手法であり、相場変動におけるキャッシュポジションを減らし、投資金をフル稼働させて効率的な運用を行うという点から構築された手法です。
- 3.できるだけリスクを低減するために分散投資を行います。本システムは、一般の運用システムと異なり、本格的なビジネスユース・システムであるため、その収益を安定させるため多くの銘柄に分散します。

本システムで運用できる総投資金から、何銘柄に分散できるかを割り出します。分散された各銘柄は株数で調整し、できるだけ等金額になるようにします。

本システムの性能をフルに発揮するには、30銘柄以上の銘柄に分散する必要があります。

4.本システムの最大の特徴である「ヘッジ比率」を採用し運用します。ヘッジ比率は、相場全体の変動を的確にキャッチし、その相場展開に合った資金配分を行い、適正なポジションで運用を図ります。

「ヘッジ比率」は、買いと空売りの資金量をヘッジ比率に合わせてながら運用します。

初めて運用を開始された場合は、早急にヘッジ比率に合わせるのではなく、買いと空売りの資金量の比率を50対50程度で運用しながら徐々にヘッジ比率に合わせていきます。ある程度銘柄数が増えてきますと、転換銘柄を順次仕掛けることによりヘッジ比率に合ってきます。

5.投資における必勝法は「損小利大」にあるため、本システムは、これらの基本に沿った運用を行います。投資とは「長期間にわたり継続して運用する」ことであり、これらの考え方から、勝率は限りなく50%に近づくため、投資の世界で勝利するには、「損小利大」の手法以外にはないと考えます。

6.本システムは、買いと空売りの連続売買であるため、どちらの売買にも有利なポイントでの売買を行わなければなりません。買いと空売りの連続売買を的確に行うためには「順張り」が適しています。そのため、本システムではトレンド・フォローの順張りを採用しています。

7.本システムの基本ルールを理解し、忠実に実践されることにより、安定した運用が図れるものと思います。そのため、本システムでは、レバレッジを採用した運用も可能となり、より一層の資金効率を高めることができます。レバレッジは2倍程度までの運用が可能です。

以上が本システムの特徴であり、独自の投資スタイルの投資手法となります。そのため、本システムで初めて運用を始められる投資家には、当初は戸惑われることもいくつかあると思います。

特に、運用当初は損切りの連続となりますが(損切りまでの期間は短く、利食いまでの期間が長くなるため)、これらは「損小利大」の投資手法であれば当然のことであり、これらを理解していないと不安が生じることになります。

本システムでの運用につきましては、「完全なシステム売買」とはどのような運用手法であるかということを完全に理解してからスタートさせないと、運用途中での迷いや挫折となりかねません。

くれぐれも、本システムの趣旨を理解され納得された上で運用いただくことを願うものです。

本システムの概念

本システムは、あらゆる投資家のニーズに合うよう「短期売買用」「中期売買用」「長期売買用」の選択が可能となっています。投資家の投資資金量や投資スタンス合った運用を選択することができます。

本システムは本格的な「資産運用」や「ファンド運用」に設計されたビジネス専用型の株式運用モデルです。「完全なシステム売買（機械的売買）」で運用を行うものです。売買は本システムの売買ルールに基づいて売買します。

損は小さく早めに処分する、利益は限りなく大きく取るという株式投資の必勝法である「損小利大」の投資原則に忠実に従った売買手法を取り入れています。

同一銘柄で「買い」と「空売り」の連続した売買を行なうため、投資資金は休むことなくフル稼働し、投資パフォーマンスを最大限に引き出すことができます。また、売買は相場の上昇下降の変動に自動的に対応した「ヘッジ比率」を採用し、市場の変動に添った売買が可能となるよう設計されています。

本システムは従来の株式投資手法と異なり、投資家自身の投資判断等は一切必要とせず、システムの指示による売買のため、投資家によっては非常に違和感を覚えるところもあると思います。また、本システムは、「順張り手法」を用いているため、底値での買い、天井での売りとならず、一般的な売買をされている投資家にとっては戸惑いを感じる場所もあると思います。

しかし、本システムは投資資金を最大限に生かした従来にはない特殊な連続売買手法であることをご理解ください。これらは本システム内の「パフォーマンス」をご覧いただければ、その内容(成績)により、ご理解いただけるものと考えます。

本システムの運用に当たっては、投資家自身の分析や判断は一切受け入れません。必ず本システムの売買ルールに従って売買してください。

本システムは「完全なシステム売買」であるため、その本質を十分理解された上で運用されることを願うものです。

運用の手順

銘柄の選択 =====

新規の仕掛け銘柄は必ず「本日の転換銘柄」の上位から選択します。まず、最初に、投資資金量に応じてランク上位の何銘柄まで売買の対象にするか決定しておかなければなりません。投資資金量と「パフォーマンス」などを参考に判断してください。

リストされた銘柄は、すべて信用銘柄(貸借銘柄)です。銘柄によっては、規制などにより、売買できない銘柄もありますので注意してください。

本システムの性能をフルに発揮するためには、30銘柄以上の銘柄分散を必要とします。

仕掛け =====

仕掛け銘柄は必ず30銘柄以上とし、これらを「本日の転換銘柄」の上位から順次選択します。できるだけ多くの銘柄に分散します。個々の銘柄に対する投資金額は、株数で調整し、できるだけ等金額になるよう投資資金を分割します。仕掛けは転換日の翌日の寄り付き成り行きでの仕掛けが基本です。仕掛け後は「持株管理」に登録します。

持ち株 =====

「持株管理」に登録された持ち株は、転換があるか毎日点検します。本システム内にある「パフォーマンス」を見てわかりますように、損となる場合は、その持続期間は短く、利益になる場合は持続期間が長くなります。そのため当初は損切りが先行することになります。この点を十分理解してください。ある程度期間が過ぎますと、持ち株全体の評価損益は常にプラスの状態に移るようになります。

仕掛け後当初は、損切りが先行し、非常に辛い時期となりますが本システムの売買ルールに従った売買では、損切り分と持ち株の評価損益の合計による損失は、本システムで運用するために当初準備した総投資金の20%を上回ることはないというシミュレーション結果が出ています。

持ち株は、当初決めたランク以内にあることが原則です。もし、持ち株がランク以外になった場合には、すぐには処分せず、次の転換まで待つて処分します。

転換 =====

持ち株が転換となった場合は、今まで持続していた銘柄を決済し、新たに同銘柄に対し反対売買を行います。ただし、この場合、反対売買できる銘柄は、当初決めたランク以内にあることが原則です。

ランク外で決済となった場合は、ランク上位(当初決めたランク以内)の転換銘柄を待って乗り換えてください。

持ち株が当初決めたランク以内であれば、投資家自身の判断での処分や決済を禁止します。

また、信用取引の売買で信用期日の6ヶ月目となった場合には、該当銘柄を一旦処分し、再度、同銘柄を仕掛け直します。

注意点

<損切り幅について>

仕掛け後に損益評価がマイナスとなり転換した場合は損切りということになりますが、本システムでは、その損切り幅は仕掛け値から何パーセントという固定値は採用しておりません。本システムにおいては、すべて分析指標の判定により、その転換を指示しています。そのため、株価が大きく変動した場合などには、損切り幅が増大することもあります。

これらの点を十分ご理解ください。しかし、これらの損切り幅の平均値は本システムの「パフォーマンス」に見られますように小幅な損切り幅となっています。

<本システムの採用銘柄について>

本システムで採用している銘柄は、すべて信用銘柄(貸借銘柄)です。本システムでの銘柄の採用基準として、過去6ヶ月以内に売り残、または買い残の残高のない銘柄は採用しておりません。採用銘柄につきましては随時見直して入れ替えを行います。

<パフォーマンスについて>

本システム内に表示されます「パフォーマンス」の数値につきましては、すべて過去のシミュレーションの結果であり、本システムが、その成績を保証するものではありません。

その理由のひとつとして、たとえば、ランキング下位の銘柄が転換となったものの仕掛け条件等が合致せず、ランキングリストの上位に入っていなかった銘柄があったとします。

しかし、それらの銘柄が、その後大きな株価変動が起こり、突然ランキングリストの上位にランクされた場合、それらの銘柄は、転換時にランク外であったため実際の仕掛けができないにもかかわらず、その後の変動によって、突然ランク内に登場するということが起きます。

このような場合、実際に仕掛けのできない銘柄もランキング上位のパフォーマンスの数値としてカウントされることになり、これらの不都合はシステム構築上やむを得ないことであり、パフォーマンス内容には、これらの点が含まれていることをご理解いただきたいと思えます。

よって、一般的には実際の運用の成績において、表示されているパフォーマンスを下回る結果となる場合が多くなります。しかし、全銘柄におけるパフォーマンスは常に正しいものとなります。

画面の解説および操作

スタートアップ

本システムを起動すると「スタートアップ画面」が立ち上がります。



パスワードを入力し「OK」ボタンをクリックしてスタートします。

【注意】パスワードは必ずキーボードより小文字で入力します。貼り付けは不可。

正常に起動できない場合、または接続が遅い場合は「本システムが接続できない場合の対処法」を参照ください。 <http://www.spsnet.jp/information.html>

メニューバー

各種操作を行うメニューボタンです。

「操作・解説」「持株管理」「銘柄リスト」「配当管理」「成績集計」「パフォーマンス」「株価データ」「コメント」「質問メール」「メモ帳」「お申し込み」「ホームページ」などの操作ができます。



操作、解説

本書です。本システムのマニュアルです。操作方法やその解説が掲載されています。マイクロソフトのワード(Microsoft word)やPDFファイル(Adobe Reader)で閲覧します。



PDFファイルは、アドビー・リーダーがインストールされていなければなりません。

アドビー・リーダー(Adobe Reader)は、<http://get.adobe.com/jp/reader/>で無料でダウンロードできます。

ワードは、マイクロソフトのワードがインストールされていなければなりません

持株管理

仕掛けた銘柄を登録し管理します。「新規入力」「訂正」「削除」「転送」「並び替え」等ができます。

持ち株リストは、短期、中期、長期売買用において、各売買ごとに別管理します。

持ち株の一覧が表示されます。持ち株の管理を行います。

「仕掛日」 持ち株を仕掛けた日。

「買/売」 買い、空売りの別。

「銘柄名」 持ち株の銘柄名。

「仕掛値」 持ち株を仕掛けた価格。

「株数」 持ち株を仕掛けた株数。

「現在値」 データ更新日の終値の株価。

「損益」 仕掛値と現在値の差。

「損益金」 仕掛値と現在値の差に株数を掛けた損益金。

「損益率」 仕掛値に対する現在値の損益率。

「日数」 仕掛日からデータ更新日までの日数。

「ランク」 ランキングにおける持ち株の順位。

「転換」 持ち株が反対転換した場合に「売転」「買転」を表示。

「メモ」 メモの記録

操作ボタン

新規登録

新規に仕掛けた銘柄を持ち株として登録します。

「仕掛日」「買/売」「コード」「仕掛値」「株数」「メモ」の順で入力します。「仕掛日」は日付ボックスの該当日をクリックして入力します。「メモ」は何かメモしておきたいことがあれば入力します。全角で15文字。半角で30文字まで入力できます。

新規登録の入力が完了しましたら「実行」ボタンをクリックします。

訂正

すでに持ち株として登録されている銘柄の訂正を行います。

「訂正」ボタンをクリックし、下段の持ち株リストより該当する銘柄をクリックします。選択された銘柄は上段の各項目のボックスに表示されますので、ここで訂正箇所を修正します。訂正が完了しましたら「実行」ボタンをクリックします。

削除

間違って登録された銘柄を削除します。

「削除」ボタンをクリックし、下段の持ち株リストより該当する銘柄をクリックします。選択された銘柄は上段の各項目のボックスに表示されますので、削除したい銘柄に間違いなければ「実行」ボタンをクリックします。

転送(決済リスト)

持ち株リストに登録されている銘柄で、すでに決済となった銘柄は「決済リスト」に転送し削除します。「転送(決済リスト)」ボタンをクリックし、下段の持ち株リストより該当する銘柄をクリックします。選択された銘柄は上段の各項目のボックスに表示されますので、転送する銘柄に間違いがなければ「実行」ボタンをクリックします。決済リストに転送される項目は、「仕掛日」「買/売」「コード」「仕掛値」「株数」「メモ」です。

キャンセル

入力された各項目をすべて削除します。

印刷

持ち株リストに表示されている銘柄リストを印刷します。

並び替え

「仕掛け日」「コード番号」「損益金」「損益率」「ランク」の各項目について、「大きい順」または「小さい順」に並び替えます。並び替え項目を選択し、「大きい順」または「小さい順」を選択して、「並び替え」ボタンをクリックします。持ち株リストに並び替えられたりリストが表示されます。

表示の選択

全銘柄表示

「持株管理」に登録されているすべての銘柄を持ち株リストに表示します。

買い銘柄のみ表示

「持株管理」に登録されている銘柄の中から、買い銘柄のみを持ち株リストに表示します。

売り銘柄のみ表示

「持株管理」に登録されている銘柄の中から、売り銘柄のみを持ち株リストに表示します。

集計表示

建玉

「持株管理」に登録されている銘柄をクリックすると、その建玉(売買代金「仕掛け値×株数」)が表示されます。

集計の表示

「持株管理」画面下部に「銘柄数」「投資金合計」「損益金合計」「損益率」が表示されます。これらは持ち株リストに表示された銘柄の数値です。

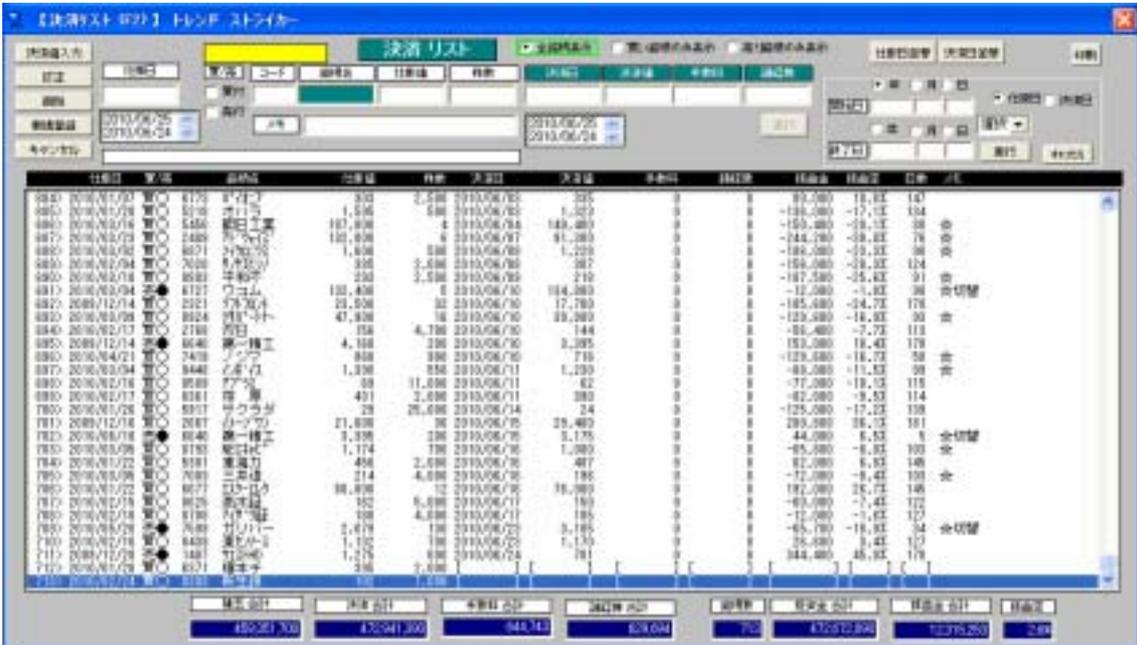
決済リスト

仕掛けた銘柄を登録し管理します。「新規入力」「訂正」「削除」「転送」「並び替え」等ができます。

決済リストは、短期、中期、長期売買用において、各売買ごとに別管理します。

決済リストの一覧が表示されます。決済値等を入力し成績の評価を行います。

決済が終了した銘柄を「持株管理」から転送し、決済日、決済値、手数料等を入力して成績の評価をします。



仕掛日	買/売	銘柄名	仕掛値	株数	決済日	決済値	手数料	諸経費	損益金	日種	注
2013/06/03	買	8175 サカイ	3.03	2,500	2013/06/03	3.25	0	0	89,000	18,83	147
2013/06/03	買	5130 サカイ	1.50	5,000	2013/06/03	1.327	0	0	-130,000	-17,13	104
2013/06/03	買	5450 朝日工業	187.00	4	2013/06/04	149.000	0	0	-130,000	-18,13	38
2013/06/03	買	1420 サカイ	142.00	6	2013/06/07	91.000	0	0	-244,000	-39,83	78
2013/06/03	買	6071 サカイ	1.44	3,000	2013/06/03	1.223	0	0	-180,000	-29,33	98
2013/06/04	買	7020 サカイ	3.00	2,000	2013/06/05	2.87	0	0	-150,000	-28,33	124
2013/06/04	買	6033 中興	2.00	2,000	2013/06/05	2.19	0	0	-187,500	-35,83	91
2013/06/04	買	6127 ワコム	130.00	0	2013/06/05	114.000	0	0	-12,000	-1,83	36
2013/06/04	買	2321 777	25.00	32	2013/06/05	17.700	0	0	-185,000	-34,73	176
2013/06/08	買	6034 サカイ	47.00	18	2013/06/05	39.000	0	0	-129,000	-18,83	92
2013/06/13	買	2180 日立	3.00	4,700	2013/06/05	1.44	0	0	-85,000	-7,73	113
2013/06/14	買	6040 第一精工	4.10	200	2013/06/05	3.395	0	0	153,000	18,43	179
2013/06/21	買	7470 ノジマ	8.00	300	2013/06/05	7.10	0	0	-129,000	-18,73	58
2013/06/04	買	6440 サカイ	1.30	950	2013/06/11	1.230	0	0	-89,000	-11,53	99
2013/06/18	買	6080 サカイ	3.00	11,000	2013/06/11	62	0	0	-77,000	-11,13	115
2013/06/17	買	6381 第一精工	4.91	2,000	2013/06/11	380	0	0	-82,000	-9,53	114
2013/06/18	買	6017 サカイ	2.00	20,000	2013/06/14	2.4	0	0	-125,000	-17,23	138
2013/06/18	買	2087 サカイ	21.00	30	2013/06/05	20.400	0	0	209,000	36,13	181
2013/06/18	買	6040 第一精工	3.30	200	2013/06/05	3.175	0	0	44,000	5,53	1
2013/06/09	買	6180 第一精工	1.774	700	2013/06/05	1.300	0	0	-85,000	-8,53	103
2013/06/12	買	6081 第一精工	4.60	2,000	2013/06/05	4.07	0	0	92,000	6,53	140
2013/06/09	買	7000 サカイ	2.14	4,000	2013/06/05	1.95	0	0	-12,000	-1,43	139
2013/06/12	買	6071 サカイ	80.00	12	2013/06/05	76.000	0	0	182,000	26,73	146
2013/06/18	買	6020 第一精工	1.52	6,000	2013/06/11	1.60	0	0	-89,000	-7,43	122
2013/06/18	買	6180 第一精工	1.00	4,000	2013/06/11	1.05	0	0	-12,000	-1,53	127
2013/06/18	買	7000 サカイ	2.678	100	2013/06/22	3.195	0	0	-85,700	-18,93	34
2013/06/18	買	6201 サカイ	1.15	100	2013/06/22	1.150	0	0	35,000	3,83	125
2013/06/18	買	6371 第一精工	2.00	8,000	2013/06/14	1.91	0	0	344,000	46,83	178
2013/06/14	買	6180 第一精工	1.00	1,000							

「仕掛日」 持ち株を仕掛けた日。

「買/売」 買い、空売りの別。

「銘柄名」 持ち株の銘柄名。

「仕掛値」 持ち株を仕掛けた価格。

「株数」 持ち株を仕掛けた株数。

「決済日」 持ち株を決済した日。

「決済値」 持ち株を決済した価格。

「手数料」 売買に要した手数料。

「諸経費」 売買手数料以外の経費。

「損益金」 仕掛値と決済値の差に株数を掛けた損益金。

「損益率」 仕掛値に対する決済値の損益率。

「日数」 仕掛日から決済値までの日数。

「メモ」 メモの記録

操作ボタン

決済値入力

「持株管理」より転送された銘柄の「決済日」「決済値」「手数料」や「諸経費」を入力します。必要に応じ「メモ」を入力します。「諸経費」や「メモ」は無ければ入力不要です。

「決済値入力」ボタンをクリックし、下段の決済リストより該当する銘柄をクリックします。選択された銘柄は上段の各項目のボックスに表示されますので、各項目を入力し間違いがなければ「実行」ボタンをクリックします。「決済日」は日付ボックスの該当日をクリックして入力します。

訂正

すでに決済として登録されている銘柄の訂正を行います。

「訂正」ボタンをクリックし、下段の決済リストより該当する銘柄をクリックします。選択された銘柄は上段の各項目のボックスに表示されますので、ここで訂正箇所を修正します。訂正が完了しましたら「実行」ボタンをクリックします。

削除

間違って登録された銘柄を削除します。

「削除」ボタンをクリックし、下段の決済リストより該当する銘柄をクリックします。選択された銘柄は上段の各項目のボックスに表示されますので、削除したい銘柄に間違いなければ「実行」ボタンをクリックします。

新規登録

「持株管理」より転送されなかった銘柄や間違って削除してしまった銘柄などを新規に登録します。

「仕掛日」「買/売」「コード」「仕掛値」「株数」「メモ」「決済日」

「決済値」「手数料」「諸経費」の順で入力します。

「仕掛日」は日付ボックスの該当日をクリックして入力します。

「決済日」は日付ボックスの該当日をクリックして入力します。

「メモ」は何かメモしておきたいことがあれば入力します。全角で15

文字。半角で30文字まで入力できます。

「諸経費」は、無ければ入力しないで結構です。

新規登録の入力が完了しましたら「実行」ボタンをクリックします。

キャンセル

入力された各項目をすべて削除します。

仕掛日並替

仕掛日を日付順に並び替えます。

決済日並替

決済日を日付順に並び替えます。

印刷

決済リストに表示されている銘柄リストを印刷します。

期間指定表示

決済リストに登録されている銘柄を、指定された期間内に該当する銘柄のみを決済リストに表示します。これらは「仕掛日」または「決済日」の選択ができます。

開始日

「年」「月」「日」の順に指定し、それぞれ「選択」のリストより該当する年月日をクリックして入力します。キーボードから直接入力することもできます。

終了日

「年」「月」「日」の順に指定し、それぞれ「選択」のリストより該当する年月日をクリックして入力します。キーボードから直接入力することもできます。

仕掛日

仕掛け日による期間指定表示を行います。

決済日

決済日による期間指定表示を行います。

実行

開始日および終了日が正しく入力できましたら「実行」ボタンをクリックします。指定された期間内の銘柄が決済リストに表示されます。

キャンセル

間違って入力された場合に「キャンセル」ボタンをクリックします。

表示の選択

全銘柄表示

「決済リスト」に登録されているすべての銘柄を決済リストに表示します。

買い銘柄のみ表示

「決済リスト」に登録されている銘柄の中から、買い銘柄のみを決済リストに表示します。

売り銘柄のみ表示

「決済リスト」に登録されている銘柄の中から、売り銘柄のみを決済リストに表示します。

配当管理

配当金を管理します。配当金の受取金額や支払金額(空売りの場合は配当金を支払います)

配当管理は、短期、中期、長期売買用において共通で利用します。

配当管理の一覧が表示されます。配当管理を行います。

■【配当管理 (F11)】 トレンド ストライカー

配当管理

No.	日付	銘柄名	受取金額	支払金額	差引計
61)	2009/09/03	7739 特力電	6,975		290,043
62)	2009/09/09	7613 シークス	17,577		307,620
63)	2009/09/16	6459 大和冷	4,650		312,270
64)	2009/10/06	1414 ヨーホント		6,510	305,760
65)	2009/11/16	7718 双精	7,161		312,921
66)	2009/11/19	7599 ガリバー	16,963		329,884
67)	2009/12/02	3116 日産紡織	930		330,814
68)	2009/12/02	6995 東海理化	1,488		332,302
69)	2009/12/04	6305 日立建		1,860	330,442
70)	2009/12/04	6652 I D E C	10,230		340,672
71)	2009/12/07	6363 西島製		4,185	336,487
72)	2009/12/07	7239 タチエス		5,022	331,465
73)	2009/12/07	7942 J S P	7,812		339,277
74)	2009/12/07	8625 高木証		11,160	328,117
75)	2009/12/07	8803 平和不		5,580	322,537
76)	2009/12/08	2768 双日		8,370	314,167
77)	2009/12/08	4042 東ソー		8,370	305,797
78)	2009/12/08	5479 日金工		3,720	302,077
79)	2009/12/08	6794 双電	14,880		316,957
80)	2009/12/09	5923 高田機		5,580	311,377
81)	2009/12/09	6976 太陽電		4,650	306,727
82)	2009/12/10	5013 双化	3,720		310,447
83)	2009/12/10	5541 大平金		3,720	306,727
84)	2009/12/10	7915 日写印	4,185		310,912
85)	2009/12/11	6333 帝国電機		3,720	307,192
86)	2009/12/11	7537 丸文	7,812		315,004
87)	2009/12/14	7513 コジマ		5,208	309,796
88)	2009/12/16	6371 椿本手		5,580	304,216
89)	2009/12/16	7414 小野建	4,185		308,401
90)	2009/12/16	9856 ケーHD		9,300	299,101
91)	2009/12/17	7287 日精機		4,650	294,451

91

597,445

302,994

294,451

「日付」 配当日。

「銘柄名」 配当があった銘柄名。

「受取金額」 配当を受けとった金額。

「支払金額」 配当を支払った金額(空売り銘柄)。

「差引計」 受けとった金額と支払った金額の差し引き額。

操作ボタン

入力

配当のあった銘柄の登録を行います。

日付、「コード」、「受取金額」または「支払金額」の順で入力します。

「日付」は日付ボックスの該当日をクリックして入力します。

入力が完了しましたら「OK」ボタンをクリックします。

訂正

すでに登録されている銘柄の訂正を行います。

「訂正」ボタンをクリックし、下段の配当リストより該当する銘柄をクリックします。選択された銘柄は上段の各項目のボックスに表示されますので、ここで訂正箇所を修正します。訂正が完了しましたら「OK」ボタンをクリックします。

削除

間違って登録された銘柄を削除します。

「削除」ボタンをクリックし、下段の配当リストより該当する銘柄をクリックします。選択された銘柄は上段の各項目のボックスに表示されますので、削除したい銘柄に間違いなければ「OK」ボタンをクリックします。

キャンセル

入力された各項目をすべて削除します。

並び替え

配当のあった日付順に並び替えます。「並び替え」ボタンをクリックします。配当リストに並び替えられたリストが表示されます。

期間設定

期間を指定して表示します。「期間設定」で通し番号を設定して表示します。間違いなければ「OK」ボタンをクリックします。

印刷

配当リストに表示されている銘柄リストを印刷します。期間を設定して印刷する場合は「期間設定」で通し番号を設定して印刷します。

成績表示

現在の持ち株やすでに決済した銘柄を一括集計した成績表です。

「現在」「内訳」「詳細」について表示します。

更新日	2010年06月24日					
【現在】	銘柄数	投資金合計	損益金	損益率	日数	年率概算
<持株+決済>	105 (818)	79,896,490	21,454,383	26.9%	99	98.8%
【内訳】	銘柄数	投資金合計	損益金	損益率	日数	
<持株>	105	79,896,490	9,139,130	11.4%	94	
<決済>	713	472,672,090	12,315,253	2.6%	100	
【詳細】	銘柄数	投資金合計	損益金	損益率	日数	
<持株(買)>	91	69,941,990	8,953,630	12.8%	103	
<持株(売)>	14	9,954,500	185,500	1.9%	36	
<決済(買)>	365	241,907,260	185,979	0.1%	92	
<決済(売)>	346	232,268,830	12,129,274	5.2%	109	

【現在】 現在の持ち株とすでに決済した銘柄を合わせた成績表です。

<持株+決済>

銘柄数-----現在の持ち株とすでに決済した銘柄の数です。

投資金合計-----現在の持ち株とすでに決済した銘柄の投資金合計です。

損益金-----現在の持ち株とすでに決済した銘柄の損益金合計です。

損益率-----現在の持ち株とすでに決済した銘柄の投資金合計に対する損益金の割合です。

日数-----現在の持ち株とすでに決済した銘柄の平均日数です。
年率概算-----現在の持ち株とすでに決済した銘柄の損益率の年率概
算です。[365÷日数(平均)×損益率]

【内訳】 現在の持ち株とすでに決済した銘柄の内訳です。

<持株>

現在の持ち株を集計した成績です。"

<決済>

すでに決済した銘柄を集計した成績です。

【詳細】 現在の持ち株とすでに決済した銘柄の詳細です。

<持株(買)>

現在の持ち株の買い銘柄のみを集計した成績です。

<持株(売)>

現在の持ち株の空売り銘柄のみを集計した成績です。

<決済(買)>

すでに決済した銘柄の買い銘柄のみを集計した成績です。

<決済(売)>

すでに決済した銘柄の空売り銘柄のみを集計した成績です。

パフォーマンス

本システムの対象銘柄に対する過去 4 年間の売買シミュレーション結果(パフォーマンス)です。日々更新されます。本システムの「ランク」リストの上位からの成績が表示されます。「パフォーマンス」ボタンをもう一度クリックするとパフォーマンスの表示が消えます。

これらのパフォーマンスは、すべて過去のシミュレーション結果であり、今後の成績を保証するものではありません。

更新日時 2010年06月24日現在		(データ期間 2006/07/06~2010/06/24)								
	売買回数	平均利益	平均日数	勝率	年率概算	[利益の平均/日数]		[損失の平均/日数]		
上位 100銘柄	782	34.2%	147	59.8%	86.9%	76.5%	180	-18.9%	101	
上位 200銘柄	1576	26.3%	148	61.0%	65.9%	59.0%	180	-17.5%	103	
上位 300銘柄	2414	22.5%	147	60.7%	56.2%	51.2%	179	-16.3%	103	
上位 400銘柄	3236	19.7%	147	60.3%	49.3%	46.1%	179	-15.8%	102	
上位 500銘柄	4061	17.7%	146	59.6%	44.3%	42.9%	178	-15.6%	102	
全銘柄2030銘柄	17599	4.5%	131	45.7%	9.9%	24.1%	170	-13.5%	99	

◆これらのパフォーマンスは、すべて過去の成績であって今後のパフォーマンスを保障するものではありません。

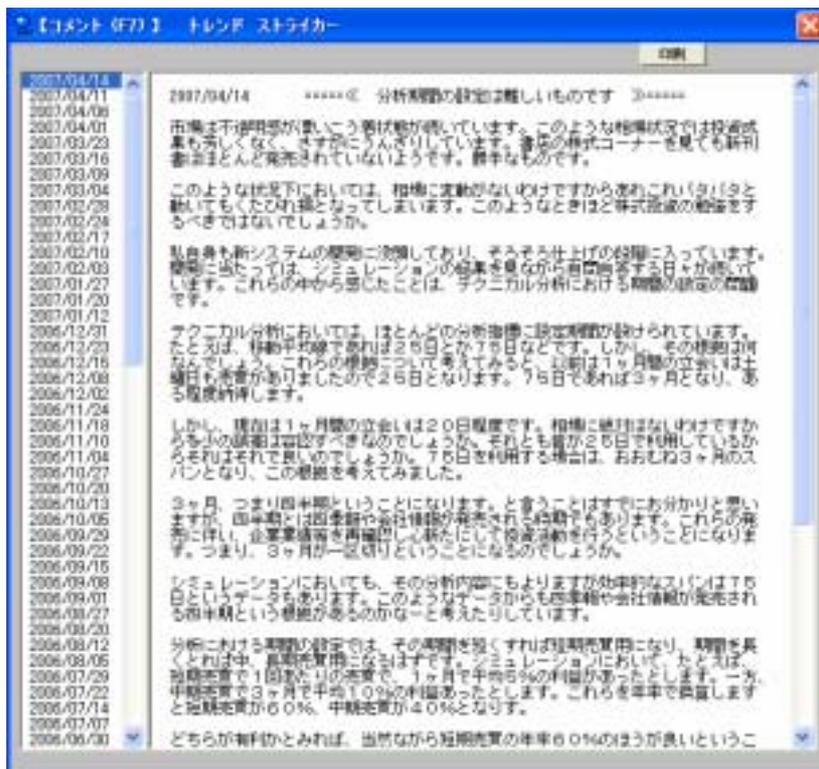
株価データ

表示された株価チャート銘柄の日々の株価、出来高、信用残が表示されます。

日付	株価	出来高	信用残	日付	株価	出来高	信用残
4817>2010/04/26	440	438	424	4820	426.000	226,000	790,000
4818>2010/04/27	444	439	430	4821	426.000	226,000	790,000
4819>2010/04/28	448	438	425	4822	426.000	226,000	790,000
4820>2010/04/29	453	437	421	4823	426.000	226,000	790,000
4821>2010/05/04	455	436	414	4824	426.000	226,000	790,000
4822>2010/05/05	460	432	391	4825	426.000	226,000	790,000
4823>2010/05/06	464	431	388	4826	426.000	226,000	790,000
4824>2010/05/11	426	424	414	4827	426.000	226,000	790,000
4825>2010/05/12	411	421	409	4828	426.000	226,000	790,000
4826>2010/05/13	410	425	411	4829	426.000	226,000	790,000
4827>2010/05/14	420	427	414	4830	426.000	226,000	790,000
4828>2010/05/17	420	425	412	4831	426.000	226,000	790,000
4829>2010/05/18	417	425	404	4832	426.000	226,000	790,000
4830>2010/05/19	404	421	399	4833	426.000	226,000	790,000
4831>2010/05/20	411	414	403	4834	426.000	226,000	790,000
4832>2010/05/21	399	408	393	4835	426.000	226,000	790,000
4833>2010/05/24	400	405	392	4836	426.000	226,000	790,000
4834>2010/05/25	417	415	395	4837	426.000	226,000	790,000
4835>2010/05/26	391	393	310	4838	426.000	226,000	790,000
4836>2010/05/27	381	398	370	4839	426.000	226,000	790,000
4837>2010/05/28	407	402	381	4840	426.000	226,000	790,000
4838>2010/05/29	399	409	395	4841	426.000	226,000	790,000
4839>2010/05/31	405	407	399	4842	426.000	226,000	790,000
4840>2010/06/01	394	404	391	4843	426.000	226,000	790,000
4841>2010/06/02	401	406	399	4844	426.000	226,000	790,000
4842>2010/06/03	387	404	395	4845	426.000	226,000	790,000
4843>2010/06/04	395	399	374	4846	426.000	226,000	790,000
4844>2010/06/07	376	391	379	4847	426.000	226,000	790,000
4845>2010/06/08	377	379	368	4848	426.000	226,000	790,000
4846>2010/06/09	380	378	362	4849	426.000	226,000	790,000
4847>2010/06/10	376	380	376	4850	426.000	226,000	790,000
4848>2010/06/11	376	380	376	4851	426.000	226,000	790,000
4849>2010/06/14	371	381	377	4852	426.000	226,000	790,000
4850>2010/06/15	384	384	379	4853	426.000	226,000	790,000
4851>2010/06/16	382	381	381	4854	426.000	226,000	790,000
4852>2010/06/17	388	389	382	4855	426.000	226,000	790,000
4853>2010/06/18	388	389	381	4856	426.000	226,000	790,000
4854>2010/06/21	381	383	381	4857	426.000	226,000	790,000
4855>2010/06/22	380	380	380	4858	426.000	226,000	790,000
4856>2010/06/23	381	380	377	4859	426.000	226,000	790,000

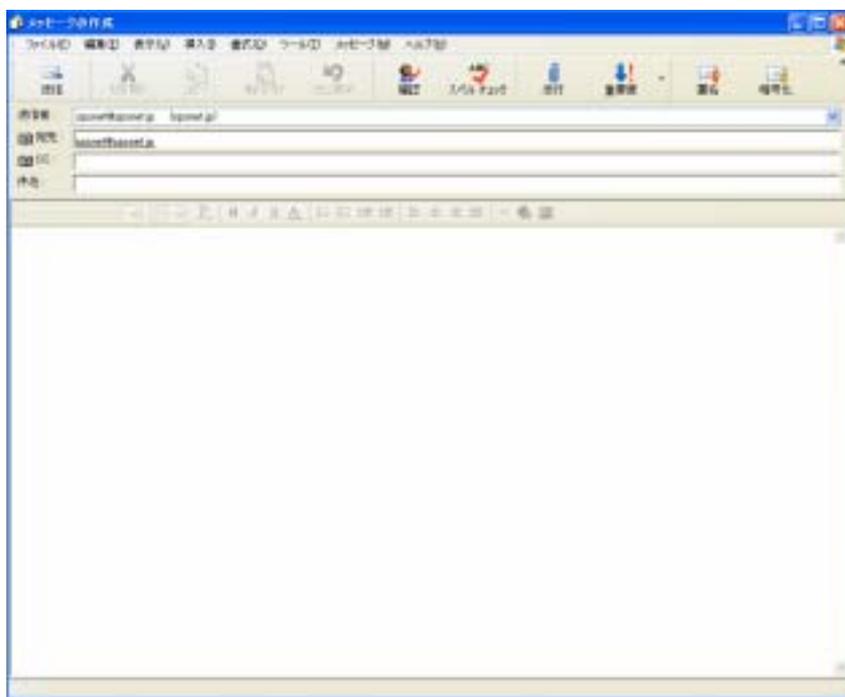
コメント

毎週一回程度、S P S 研究所より株式投資についての解説や投資技法のコメントがあります。過去のコメントも閲覧できます。



質問メール

本システムの不明な点の質問や株式全般の質問ができます。メールにてお答えいたします。



メモ帳

売買において記録しておきたい事柄などを自由に書き込んで保存しておくことができます。



ホームページ

S P S 研究所のホームページにリンクします。



銘柄リスト

「本日の転換銘柄」「ランキングリスト」「全銘柄リスト」「持ち株リスト」を選択されることにより、各リストの銘柄が表示されます。

本日の転換銘柄	銘柄名	部	転換日	転換日株価	転換	本日株価	出来高 [ランク]	印刷
ランキングリスト	1> 7245 大同メタル	Ⓢ	2010/06/24	332	売●	332	10,000 [40]	<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/>
	2> 6817 スミタ	Ⓢ	2010/06/24	1,068	売●	1,068	46,100 [53]	
全銘柄リスト	3> 5101 浜コム	Ⓢ	2010/06/24	433	売●	433	1,262,000 [291]	
	4> 1701 昭和KDE	Ⓢ	2010/06/24	129	売●	129	9,000 [302]	
持ち株リスト	5> 6409 キトー	Ⓢ	2010/06/24	97,000	売●	97,000	30 [341]	
	6> 8150 三信電気	Ⓢ	2010/06/24	789	売●	789	49,500 [379]	
	7> 4183 三井化学	Ⓢ	2010/06/24	277	売●	277	6,634,000 [460]	
コード	8> 3787 テクノマセM	Ⓢ	2010/06/24	131,300	売●	131,300	56 [468]	

操作ボタン



The screenshot shows a financial software interface. On the left, there is a table with columns for stock codes, names, and various financial metrics. On the right, there is a price chart with a blue line representing stock price over time. The interface includes various buttons and navigation elements.

本日の転換銘柄

本日、「上昇転換」または「下降転換」した銘柄を銘柄リストに表示します。「ランク」の欄に順位が記載されています。新規の仕掛けは、このランクの上位(当初決めたランク内)にある銘柄を仕掛けるようにします。それ以下の銘柄は無視してください。

本システムの新規の仕掛けは、このリストからのみですので注意してください。表示されたリストの銘柄をクリックすると株価チャートが表示されます。

株価データ期間が2年に満たない銘柄は、分析計算が不安定になっているため避けてください。

ランキングリスト

ランク上位より表示します。最終転換日が表示してあります。仕掛け銘柄のリストではありませんので注意してください。クリックすると株価チャートが表示されます。

全銘柄リスト

東証全銘柄のコード番号順のリストです。転換日やランクが表示されます。

持ち株リスト

「持株管理」に登録された銘柄が表示されます。持ち株が反対転換すると「売」「買」が表示されますので、すみやかに反対売買を行います。

コード

証券コードを入力すると株価チャートが表示されます。

色分けチャート

「色分けチャート」にチェックを入れることにより、株価チャートの表示を上昇転換と下降転換を色を分けて表示します。

印刷

銘柄リストを印刷します。上位何銘柄と指定して印刷できます。

「6ヵ月」～「42ヶ月」

株価チャートを表示する期間を選択します。

「短期、中期、長期」ボタン

運用システム(短期、中期、長期)を変更する場合に利用します。

本システムが短期、中期、長期の初期状態になります。

成績結果

該当銘柄の過去3年間の売買結果です。

チェックマークを消すと成績結果は表示されません。

売買回数-----該当銘柄の過去3年間の売買の回数です。

すべて、売り買いの連続売買です。

年率-----該当銘柄の過去3年間のすべての売買の年率概算数です。

計算方法は損益率×(365÷決済までの日数)。

概算値ですので参考程度に。

平均損益-----プラスで決済した売買とマイナスで決済した売買の平均の損益率で

す。

平均日数-----プラスで決済した売買とマイナスで決済した売買の決済までに要し

た日数の平均です。

勝率-----プラスで決済した売買とマイナスで決済した売買の比率です。

プラス利益平均--該当銘柄の売買において(過去3年間)、プラスで決済した売買の平均利益率です。

プラス平均日数--該当銘柄の売買において(過去3年間)、プラスで決済した売買の決済までに要した平均日数です。

マイナス損失平均--該当銘柄の売買において(過去3年間)、マイナスで決済した売買の

平均損失率です。

マイナス平均日数--該当銘柄の売買において(過去 3 年間)、マイナスで決済した売買の
決済までに要した平均日数です。

【注意】

上記の売買の成績は、すべて転換日の翌日の寄り付きで仕掛け、決済は 転換日の翌日の
寄り付きで決済したとしました。また、最終転換は更新 日の株価で決済したと仮定して
計算しています。

更新日時・データ期間

本システムのデータが更新された日付および時間です。ご利用される時は必ず確認してく
ださい。

更新日時	2010年06月24日 20時49分	
データ期間	2007/06/21~2010/06/24	
ヘッジ比率	買 35	売 65
持株比率	買 0	売 100
<input checked="" type="checkbox"/> 成績結果	企業	単独
	連結	中間

更新日時

本システムのデータが更新された日付および時間です。

データ期間

本システムのデータ保有期間です。

企業業績(ウェブサイト)

ヤフーファイナンスにリンクし、企業業績などを閲覧します。

「企業」「単独」「連結」「中間」が表示されます。

更新日時 2010年06月24日 20時49分
データ期間 2007/05/21~2010/06/24
ヘッジ比率 買 35 売 65
持株比率 買 0 売 100
 成績結果
企業 単独
連結 中間

連結決算推移

	前期	2前期	3前期
決算期	2010年3月期	2009年3月期	2008年3月期
決算発表日	2010年5月12日	2009年5月13日	2008年5月16日
決算月数	120ヶ月	120ヶ月	120ヶ月
売上高	9,839百万円	11,544百万円	12,110百万円
営業利益	24百万円	-127百万円	-147百万円
経常利益	12百万円	-181百万円	-191百万円
当期利益	---	-712百万円	-100百万円
EPS(一社当たり利益)	0.00円	-17.17円	-3.19円
調整一社当たり利益	---	---	---
BPS(一社当たり純資産)	78.27円	78.87円	88.70円

企業

ヤフーファイナンスにリンクし、チャート表示された銘柄の「会社概要」を表示します。

単独

ヤフーファイナンスにリンクし、チャート表示された銘柄の「単独決算」を表示します。

連結

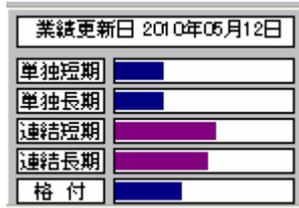
ヤフーファイナンスにリンクし、チャート表示された銘柄の「連結決算」を表示します。

中間

ヤフーファイナンスにリンクし、チャート表示された銘柄の「中間決算」を表示します。

業績指標グラフ

表示された銘柄の企業業績をグラフで表示します。



業績更新日

該当銘柄の業績内容が更新された日を表示しています。

単独短期

該当銘柄の単独業績を3期分(来期予想を含む)分析し、これらが東証全体のどの水準にあるかを表示してあります。最大10ポイントとして業績を判定しています。

単独長期

該当銘柄の単独業績を6期分(来期予想を含む)分析し、これらが東証全体のどの水準にあるかを表示してあります。最大10ポイントとして業績を判定しています。

連結短期

該当銘柄の連結業績を3期分(来期予想を含む)分析し、これらが東証全体のどの水準にあるかを表示してあります。最大10ポイントとして業績を判定しています。

連結長期

該当銘柄の連結業績を6期分(来期予想を含む)分析し、これらが東証全体のどの水準にあるかを表示してあります。最大10ポイントとして業績を判定しています。

格付

該当銘柄の財務体質の健全度を表した指標です。これらが東証全体のどの水準にあるかを表示してあります。最大10ポイントとして財務体質を判定しています。

【注意】

「業績指標グラフ」につきましては、当研究所の独自の手法による分析結果です。

ヘッジ比率

更新日時	2010年06月24日 20時49分	
データ期間	2007/06/21~2010/06/24	
ヘッジ比率	買 35	売 65
持株比率	買 0	売 100
<input checked="" type="checkbox"/> 成績結果	企業	単独
	連結	中間

ヘッジ比率

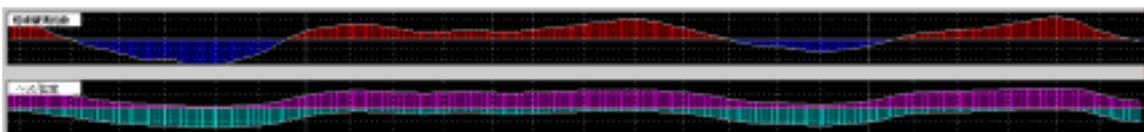
相場全体の動向を観察し、現在の「売り」と「買い」でどちらが優位であるかを判定した指数です。全体を100として判定しています。

持株比率

現在「持株管理」に登録されている銘柄の「買い」と「売り」を比較した数値です。全体を100として判定しています。これらは売買代金(株価×株数)で計算しています。持ち株は相場全体の動向を示す「ヘッジ比率」に合わせて売買します。

相場観測指数/ヘッジ比率

相場観測指数

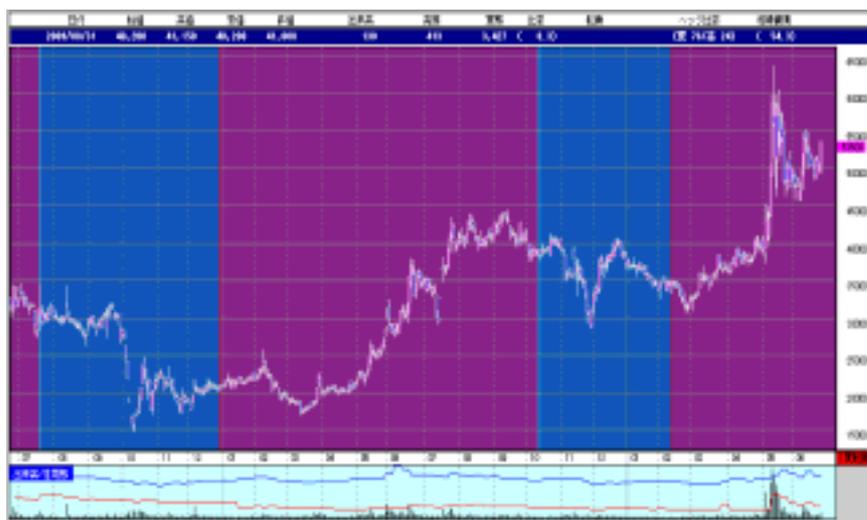


「相場観測指数」は、市場全体の相場動向を表した指数です。赤色(指数が「0」以上)は上昇トレンド、青色(指数が「0」以下)は下降トレンドと判定します。

「ヘッジ比率」は、相場全体における買いポジションと売りポジションの比率を表示します。買い銘柄、売り銘柄をこれらの比率で売買することにより、ヘッジの役割を果たし安全な運用が可能となります。ヘッジ比率は、0～100の範囲で変動します。

株価チャート・出来高/信用残

株価チャートは最大 3 年間(日足)表示されます。株価チャート上の赤の縦ラインは「上昇転換」、青の縦ラインは「下降転換」です。黄色の点線は、株式分割(権利落ち)等のラインです。



株価チャート上でマウスを移動すると、株価チャート上部のボックスに株価や出来高や転換の有無などの内容が表示されます。

株価チャート上でマウスを右クリックすると縦、横のスケールラインが引かれます。

「銘柄名」表示のところに「市場」「ランク」「単元株数」などが表示されます。

出来高/信用残

該当銘柄の「出来高」と信用の「売り残」「買い残」が表示されます。

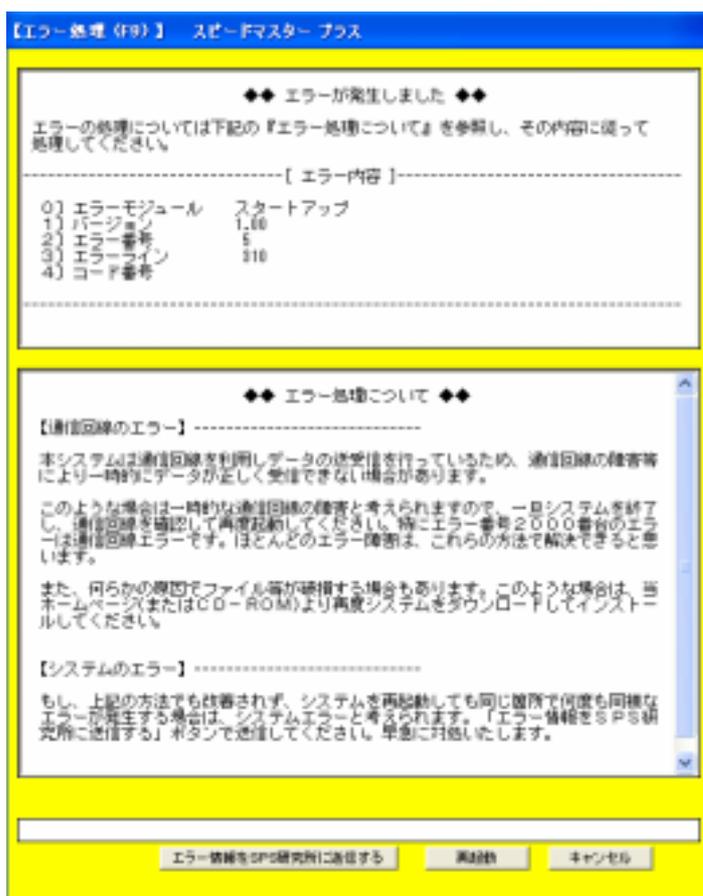
トピックスチャート

過去3年間のトピックスのチャートが表示されます。



エラー処理

通常は表示されません。



システムにエラーが発生した場合、そのエラー内容の詳細が表示されます。

「エラー情報をSPS研究所に送信する」

「エラー情報をSPS研究所に送信する」のボタンをクリックすると、その内容がSPS研究所に自動的に送信されます。

「再起動」

「再起動」ボタンをクリックすると、本システムが再起動します。

「キャンセル」

「キャンセル」ボタンをクリックすると次の処理に進みます。

ただし、致命的なエラーの場合は作動しなくなる可能性があります。その場合は「再起動」ボタンをクリックします。

本システムが正常に作動しないようなエラーの場合は、「エラー情報をSPS研究所に送信する」をクリックしてエラー内容を送信して下さい。早急に対処いたします。

【注意】

本システムは、通信回線を利用しデータの送受信を行うため、回線に障害が発生すると一時的にエラーが発生する場合があります。このような場合、再度システムを起動して同じ箇所と同様なエラーが発生しない場合は、システム上のトラブルではありませんので特に問題にする必要はありません。通信によるエラーは、エラーナンバーが2000番台です。

バージョンアップ

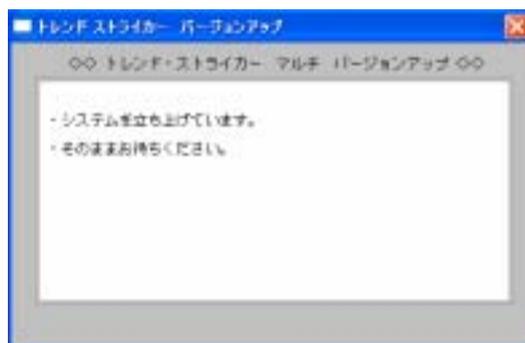
本システムのバージョンアップは、完全自動システムとなっています。バージョンアップされた場合、システム起動時に自動的に処理されます。終了するまでそのままお待ちください。

画面 1 につづいて画面 2 が表示されます。その後バージョンアップされた画面が表示されます。

画面 1



画面 2



モニター画面サイズ

本システムは、パソコンのモニター画面サイズが 1280×1024 で作成されています。そのため、そのサイズ以下では画像が乱れたり、見えない部分が起こることもあります。しかし、機能自体には問題ありません。

パソコンのモニター画面サイズを変更する場合は、

1. Windows の「スタート」ボタンをクリックする。
2. 「コントロールパネル」を選択する。
3. 「画面」を選択する。
4. 「設定」のタブを選択する。
5. 「画面の解像度」で画面サイズを設定する。
6. 「適用」ボタンをクリックする。
7. 「この設定を保存しますか」で、「はい」を選択する。

これらの方法で変更してください。

ただし、モニターによっては変更できない機種もあります。

回線接続トラブルについて

インターネットが閲覧できる環境であれば必ず本システムはご利用いただけます。

接続ができない、接続に時間がかかる等につきましては下記の方法で対処してください。

接続が不可能な場合

通常、本システムの通信接続が不可能な場合、その多くは、ウィルスソフトによる「外部サーバーへの接続不可」の設定がされています。これらの設定を「外部サーバーへの接続可」にすることにより接続できるようになります。

接続不可の設定解除の方法は、ウィルスソフト添付のマニュアルの「詳細設定」などに説明してあると思います。もし、それらが分からない場合はメーカーに直接問い合わせると良いと思います。

また、ウィルスソフトなどのセキュリティシステムソフトにファイアウォールによる「外部サーバーへの接続不可」の設定がなされている場合もあります。これらも「ヘルプ」や添付されている「ドキュメント」等に説明してあると思います。

もし、分からない場合は直接尋ねてみるのも良いと思います。最近は、ウィルスの蔓延な

どにより初期設定の段階から、「外部サーバーへの接続不可」の設定がなされているようです。

本システムを利用されるためには、通信ソフト「インターネット・エクスプローラ(マイクロソフト) 5.0」以上がインストールされていることが条件です。

「外部サーバーへの接続不可」との表現は、ご使用のモデムやルータによって異なります。

詳しくは、下記をご参照下さい。

<http://www.spsnet.jp/information.html>

通信回線のフリーズについて

フリーズとは、マウスやキーボードが操作不能の状態を言います。

本システムは回線を利用し、サーバーとデータの送受信を行いますので必ず回線を接続してからご利用下さい。本システムの利用途中に回線の切断や混線その他の状況により一時的にシステムダウンが起こることがあります。

ご利用中にこのような状態が起こりますと、システムがフリーズ(コンピュータ操作不能の状態)してマウスやキー操作が不能となります。このような場合、その回避策として下記の方法で対処して下さい。

(A) しばらくそのままお待ち下さい。再び自動的に回線が接続されます。

(B) 長期間フリーズ状態になった場合。

キーボードより「Ctrl」「Alt」「Delete」の3つのキーを同時に押します。機種によっては「CTRL」「GRPH」「DEL」の場合もあります。

「プログラムの強制終了」の画面が表示されますので「終了」のボタンをクリックします。

次の画面で「終了」のボタンをクリックします。

本システムがキャンセルされますので、再度システムを立ち上げてください。

【注意】フリーズした状態でパソコンの電源を切ってしまうと、システムのトラブルの原因になりますので絶対に行わないでください。

システム売買について

システム売買については、まだ日本ではあまりなじみの少ない売買手法です。システム売買というより「機械的売買法」と言ったほうが分かりやすいと思います。

コンピュータの株式分析ソフトで自動的に売り、買いの指示が出て、投資家はそれに従い売買を行なう。しかも利益が出る。「このようなシステムがあったら楽で良いのになあ」と投資家であれば一度は考えたことと思います。

システム売買は、ただ単にコンピュータから指示される売りや買いの指示に従って売買するだけです。非常に簡単な方法です。しかし、簡単で夢のようなシステムであれば誰でも利用したいと考えるのも当然です。しかし、これらの手法がいまだ一般に認知されていないということは、その裏にはいろいろな問題点があるのも確かです。

これらの問題点についてはいくつかあります。まず、第一に「システム運用に耐えられるだけの分析システムがあるか」という問題です。これは大きな問題です。この問題をクリアできなければシステム売買を利用する意義が根底から崩れてしまいます。

では「システム運用に耐えられる分析システム」とは何かということになります。簡単に言えば「投資理論に裏づけされている」「過去の膨大なシミュレーションで収益が上がることが証明されている」「それらのシステムが実際の運用に耐えられる」などが上げられます。

システム売買の開発でよく聞く話ですが、「過去の膨大なシミュレーションで、トータルで収益が上がるシステムを開発した」という話を聞いて見ると、最大のドローダウンが50パーセントもあり実戦では使い物にはならないシステムであったりします。実際の売買で一時的であっても投資金が50パーセントも減ってしまっただけでは運用には向きません。このようにシステム売買を構築することは非常に困難ではありますが、一部の投資家は現在でもこれらのシステム開発に挑戦し続けています。

たしかに、株式投資で銘柄選びや売買タイミングを慎重に調査検証しても、その確率は50パーセント前後でしかないという現実から見ても、システム売買のような機械的な売買でも大差はないような気もするのですが・・・。

もし、何らかの簡単なテクニカル分析で機械的な売買を行ったとして、もう一方で投資家自身が判断して売買を行った場合と比較してみるとどうなるでしょうか。これらは投資家の技術的なレベルや経験にもよると思いますが、もし現在でも塩漬け銘柄を多く持っている投資家であれば、簡単なテクニカル分析による機械的売買のほうが良かったと考えるのではないのでしょうか。

統計を取ってみると、たとえ結果的にマイナスの成績に終わったとしてもシステム売買の指示通り売買した結果と、自己判断による売買の結果を比較すると、自動売買システムの売買のほうが良い成績であったという検証も得られています。

自己判断による売買は、どのような簡単な自動売買システムにもなかなか勝てないということです。これは投資家の感情(欲)が災いするためです。株式投資で一番難しいことは、投資知識や投資技術ではなく、本当は投資家の感情のコントロールなのです。

次の問題点として、仮に「システム運用に耐えられるだけの分析システムがあった」とした場合。実際にこれらのシステムで運用を開始したとします。相場の上げ下げの確率は50パーセント前後であるため、何度も連続して損切りとなる場面があります。

アメリカの投資家ラリー・ウィリアムズも言っていましたように、投資家は「そのシステムで3回も連続して負けると、もうそのシステムは使わない」と。投資は「負けの続くゲームである」とも言われています。投資家は常に不安の中で売買を繰り返しています。自動売買システムの後押しがあっても実際に継続的な売買は困難となります。

そのシステムに対する信頼性という問題もあります。自分で開発したシステムであればいざ知らず、他人の開発したシステムにどれだけの信頼を寄せられるかということです。システム売買の成績結果を見せられても、にわかに信用できないということが現実ではないでしょうか。

投資家はそれぞれ自分なりの投資スタイルを持っています。そのためシステムの指示してくる売り、買いが、ことごとく投資家の考えと反対の指示をしてくる場合があり、投資家はこれらの指示に従うことが困難となってきます。たしかに連続して損切りの指示があったり、自分の投資判断と異なった指示をされたのでは、そのシステムに絶対の信頼を寄せられない限り、その指示に従うことができなくなることも当然です。

以上のように、相場の上げ下げの確率は50パーセント前後であるため、投資家の立場に立つと、損切りが連続して続くと精神的に参ってしまい売買続行不可能となってしまいます。このように機械的売買システムは、実際にその売買を行なってみると苦痛であり非常にハードな売買となって継続が困難となります。このようにシステム売買には、いくつかの問題があり一般化していないようです。

<< 当研究所のシステム売買 >>

当研究所の考えるシステム売買とは、ある一定の条件のもとに選択された銘柄を買い付けから売り決済へ、そして売り決済と同時に新規に空売りを仕掛け、空売り決済後さらに新規に買い付けを連続して売買(どてん売買)を行う投資手法です。投資家の技術的な判断や主観などは一切はさまず、相場の変動を気にすることなく売買サインに基づいて機械的に売買を繰り返します。非常にシンプルな投資法です。

一般の売買では、その売買のつど各指標などを分析・検討し、また過去の投資経験などにより売買の判定を下すことが一般的であると思います。しかし、システム売買の場合は、これら判断はすべてシステムの売買サインの指示に従い実践するわけですから、株価等の検証などは一切必要なくなることとなります。しかし、システム売買自体は一見簡単な売買手法のように思われますが、実際運用し見るとなかなか思い通りにはならないようです。

ある程度株式投資の経験のある投資家は、自分なりの一定の投資スタイルを持っているものです。目先の売買を得意とする投資家もいれば、中長期的な売買を得意とする投資家もいます。いろいろな考えを持ち、いろいろな投資スタイルを持った投資家がひとつの決められた売買手法で売買するという事は、「株式投資で収益を上げる」という目的は共通するものの、その売買技法は合い入れないという場合もあると思います。

そのためシステム売買においては、投資家により向き不向きがあるのも事実です。しかし、株式投資で「利益」のみを追求するのであれば、このシステム売買が最適であると思います。

システム売買は、その売買サインに従い何も考えず、そのまま証券会社に注文するだけであり、時間もかからず非常に簡単な方法です。しかし、実践する側から考えますと非常に不安を感じるものであり、またそのパフォーマンスも期待する結果になるのだろうかという疑問が起こるのも当然であると思います。

これらの問題については、最終的には投資家自身がこれらのシステムを信頼して運用するか否かに係ってきます。これらの解決策のひとつとしては、投資家自身が納得するまで模擬売買を繰り返し、そのシステムの信頼性を投資家自身が確認する方法がベストではないかと思っています。

システム売買には、その本質を見極め十分に理解されてからではないと、その継続的な運用は難しいものとなります。

おわりに

当研究所では、株式投資における長い投資経験により投資知識や株式分析法、投資手法については自信と実績があります。これらの積み上げられた投資技法により本システム「スピードマスター・プラス」が構築されております。

当研究所は株式投資に対して常に正面から真剣に取り組み、より実戦的で直接収益につながるシステム開発に努力してまいりました。今後もこの姿勢は変わらず、投資家の皆様の投資活動に多少なりともお手伝いできるよう努力して参ります。

当研究所が長年培ってまいりました投資技法につきましても、コメント欄等において公開し、投資家の皆様の投資技術向上に貢献して参りたいと考えております。今後の投資システム構築に際しては、常に多く皆様からのご意見ご希望をお聞きしながら、できるだけ投資家の皆様のニーズに合ったシステム作りを心がけます。

本システムは最高レベルの株式分析システムであり、また使用されている手法や指標もすべて当研究所が独自に研究開発した指標であるため、一部には難解なところもあると思われれます。本システムで実践する場合、本システムの売買手法を十分理解され、その上でシミュレーション(模擬売買)を行ない、すべてマスターされた後に実践に入るようお願いいたします。

株式投資とは長い時間をかけて運用利益を積み上げていくものです。間違った考えやその投資手法では一時的に利益を上げることができても、投資の基本から外れては、いずれ市場から撤退せざるをえない結果になります。

株式投資の基本は、難しいことではなく誰でも知っているシンプルな方法なのです。間違った考え方を排除し投資の基本に忠実に実践して、そして正しいリスクマネージメントを行うことによってのみ成功するものであると考えます。

正しい投資の基本を理解し、投資家自身に合った確固たる投資手法を身につけてい頂きたい願うものです。

本システム運用のための参考書籍

「株を極める! システム売買 プロのノウハウ」

著者 照沼佳夫 発行所 日本実業出版社 1800円

「株を極める! ロング・ショート戦略 勝利の方程式」

著者 照沼佳夫 発行所 日本実業出版社 1800円

ご利用料金

利用料金

トレンドストライカー・マルチ

6ヶ月	228,000円
1年間	418,000円

お支払い先

振込み先銀行名	三井住友銀行
支店名	渋谷駅前支店
口座番号	普通口座 1812093 エスピーエス ケンキュウシヨ (SPS研究所)
振込み先銀行名	ジャパンネット銀行(銀行番号0033)
支店名	本店営業部 (支店番号001)
カナ店名	ホンテン
口座番号	口座番号 6700563 (普通預金) エスピーエス ケンキュウシヨ (SPS研究所)

S P S 研究所の株式投資支援システム

トレンドストライカー・マルチ

運用マニュアル

(操作方法・指標の解説・運用方法)

- Version 1.00

発行 **S P S 研究所**

150-0043 東京都渋谷区道玄坂 2-20-26-509

電話 03-3770-2448

ホームページ <http://spsnet.jp>

メールアドレス spsnet@spsnet.jp

無断転載禁止